

2026  
4/4(土) ↓ 6/21(日)

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1

開館時間 10時~18時(最終入館17時30分)  
月曜日(ただし、5月4日、月、休館日開館)、5月7日(木)  
休館日  
主催 岐阜県現代陶芸美術館  
共催 中日新聞社、CBCテレビ、CBCラジオ  
後援 デンマーク王国大使館、スウェーデン大使館  
企画協力 株式会社ブランチ・トラスト

日欧プライベートコレクション

# ロイヤルコペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき

アール・ヌーヴォーからモダンへ

Date: April 4(Sat) - June 21(Sun), 2026  
Venue: Museum of Modern Ceramic Art, Gifu Gallery 1  
Hours: 10:00-18:00 (Last admission: 17:30)  
Close: Monday (except May 4), May 7  
Organized by: Museum of Modern Ceramic Art, Gifu  
Co-organized by: The Chumichi Shinbun,  
CBC TELEVISION CO., LTD., CBC RADIO CO., LTD.  
Supported by: Royal Danish Embassy, Embassy of Sweden  
Planning by: Branch Trust Inc.



日欧プライベートコレクション

# ロイヤル コペンハーゲンと 北欧デザインの煌めき

## アール・ヌーヴォーからモダンへ

*Through the eyes of Japanese and European collectors*

### *Royal Copenhagen and Scandinavian Design Art Nouveau to Modern*

冬の長い北欧の国々では、家の中での暮らしを大切に、食卓を華やかに彩る食器などの生活用品に、美しいデザインを取り入れてきました。本展では、デンマークとスウェーデンに焦点をあて、19世紀末から20世紀の陶磁器、銀器、ガラス器を中心に、北欧デザインの魅力に迫ります。

デンマーク王立磁器制陶所を起源とするロイヤル コペンハーゲンは、上質な磁器の生産で早くから国際的な評価を獲得し、北欧アール・ヌーヴォーの先駆けとなりました。同時期に人気を競い合った窯のビング オー グレンダールで陶工としてキャリアをスタートしたジェンセンは、のちに銀製品で名高いジョージ ジェンセンを創業します。

一方のスウェーデンでは、北欧最古の製陶所ロールストランドが品格ある陶磁器を1950年代にはオレフォスやコスタといったガラスメーカーによって芸術性の高いガラス作品が生み出されました。

日欧の貴重なプライベートコレクションから選りすぐった約200点により、アール・ヌーヴォーからモダンへと連なる北欧デザインの流れをご覧ください。

表面：【中央】皿(ブルーブルーレッド)ロイヤル コペンハーゲン 1795年 塩川コレクション 【左上より時計回り】花瓶(クラウカ)オレフォス 1950年代 個人蔵/猫娃付筆皿 ロールストランド 1897-1910年 塩川コレクション/ブローチno.309 ジョージ ジェンセン1945年以降 個人蔵/花瓶(アリエル)オレフォス 1940年(デザイン) 個人蔵/染付金彩鶴文皿 ビング オー グレンダール 1886-88年 塩川コレクション/ネックレスno.160、ペンダントno.135 ジョージ ジェンセン 1968年頃(デザイン)/花瓶 コスタ 1950年代 個人蔵/罌/猫置物 ロイヤル コペンハーゲン 1958年 塩川コレクション  
裏面：【左上より】花瓶(チュリッパ)オレフォス 1957年 個人蔵/白鳥花瓶 ロールストランド 1901-02年 塩川コレクション/仲良し犬置物 ロイヤル コペンハーゲン1900-03年 塩川コレクション/花文花瓶 ビング オー グレンダール 1920年 塩川コレクション/ソースポットとプレートno.177、レードルno.141、フロサムパターン ジョージ ジェンセン 1916年頃(デザイン) 個人蔵/花瓶(ソネルソ)コスタ 1954年 個人蔵/北極熊置物 ロイヤル コペンハーゲン 1900年 塩川コレクション



#### 関連プログラム

##### ◆記念講演

「ロイヤル コペンハーゲン、ビング オー グレンダールの魅力」

4月29日(水・祝) 14:00~15:30

講師：塩川博義(本展覧会協力者)

定員：30名[受付開始 3月28日(土) 10:00~] 聴講無料、要事前申込

##### ◆ギャラリートーク

4月12日(日)、5月10日(日)、6月21日(日) 各日14:00~

当館学芸員が展示解説をおこないます。

聴講無料(ただし要観覧券)、事前申込不要

##### ◆ワークショップ

「3つの技でつくるメタルバングル」

6月6日(土) 13:30~15:30

会場：岐阜県現代陶芸美術館 プロジェクトルーム

金工の三大技法である鋳金、鍛金、彫金を体験しながら、錫と真鍮でシンプルなバングルをつくりまします。

定員：15名[受付開始 5月9日(土) 10:00~]

要事前申込、詳細は当館ウェブサイトをご確認ください。

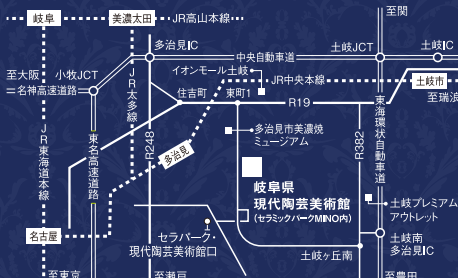
この他にも、会期中様々なプログラムを予定しています。

詳細や各イベントの申し込み方法については、当館ウェブサイトをご確認ください。

同 時 開 催	美濃陶芸の系譜
	七代加藤幸兵衛展 4月24日(金)~5月31日(日)
	林正太郎展 6月6日(土)~7月12日(日)
	令和7(2025)年度新収蔵品展I/コレクション・ハイライト 4月24日(金)~7月12日(日)



ウェブサイトはこちら →



#### 【電車でのアクセス】

東京・大阪方面→名古屋駅でJR中央本線に乗り換え/多治見駅から

○タクシー 約10分

○多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分

→「セラミックパークMINO」下車 ※土・日・祝のみ運行

○東鉄バス「瑞浪駅前」[妻木上郷]「駄知」行き 約15分

→「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車→徒歩約10分

#### 【お車でのアクセス】

○東京方面・東名高速→豊田JCT経由、新東名高速→豊田東JCT経由

○富山方面・東海北陸自動車道→美濃関JCT経由

○長野方面・中央自動車道

→土岐JCT経由 東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

○大阪方面・名神高速→小牧JCT経由 中央自動車道 多治見ICから

国道19号を土岐・中津川方面に約10分→「東町1」の交差点を右折



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5(セラミックパークMINO内)  
TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101  
URL <https://www.cpm-gifu.jp/museum/>

